

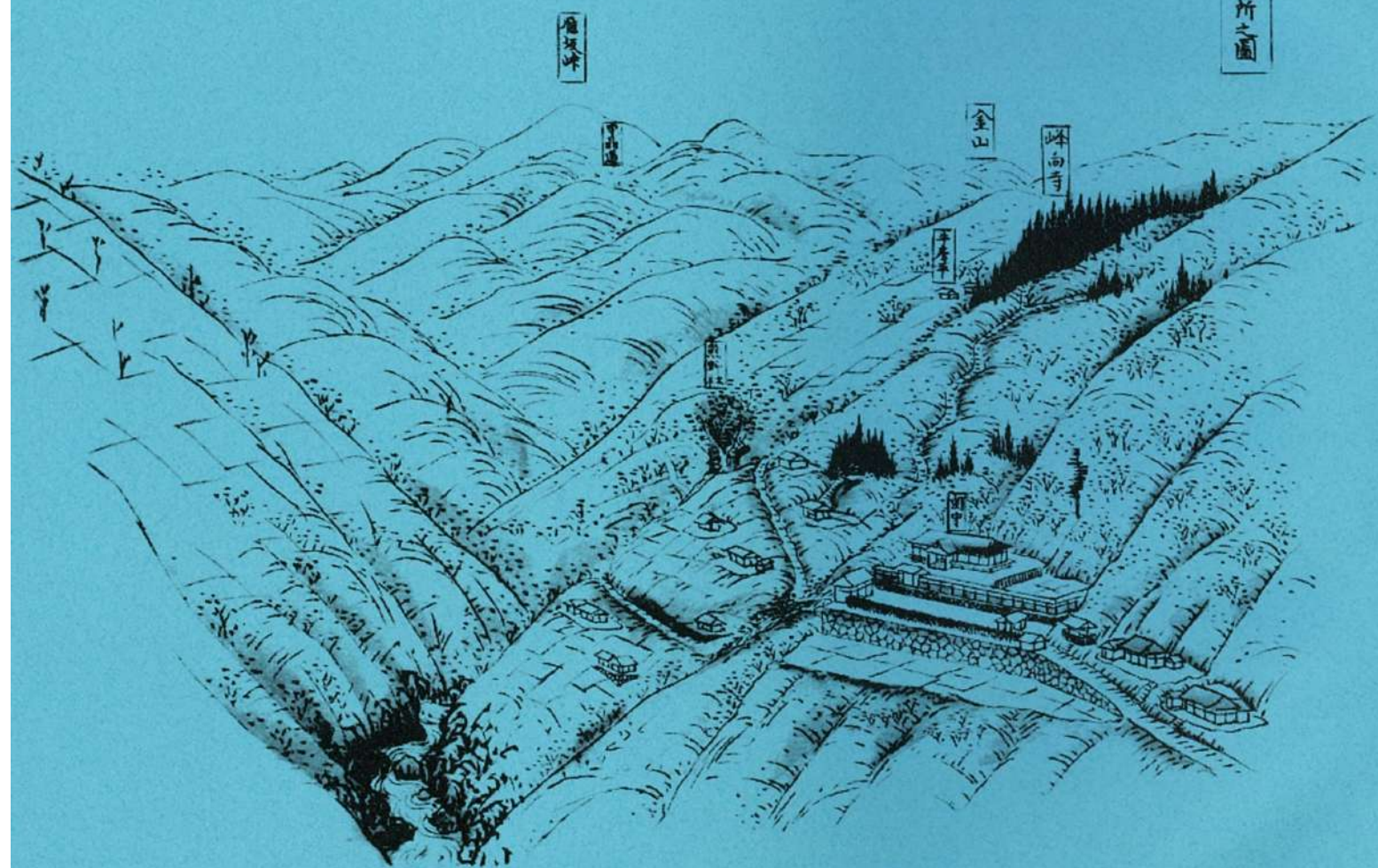
奥武蔵

465

奥武蔵研究会

2026年(令和8年)7月

栃本関所の図



「新編武蔵風土記稿」 栃本関所の図

山名標示板に思うこと

小泉 重光

ここ数年、夏といえば猛暑日が続き、低山に囲まれた奥武蔵を歩くには厳しい季節の到来といわざるを得ません。交通機関の都合もあります、会員の皆さんには涼しい時間帯から入山するなど、熱中症対策を十分に心掛けるようお願い致します。また、毎年のことながら夏山へと出かける方々には、無理のない山行計画を立てて山旅を楽しんでいただければと思います。

先日、天覚山から大高山の稜線を歩いていたところ、やたらと目につく山名標示板。「両峯山」、「四方岳」、「吾野の頭」等々：もちろん全て誤りなのですが、流石にこれは酷すぎでしょう。当会では古くから山行が実施されてはいましたが、じつは20年程前まではいわゆる破線コースで、道もさほど整備されておらず一般には歩く人もまばらだったはずです。それが「飯能アルプス」と名づけられた頃からトレイルランナー達の恰好のコースとなり、平日でもすれ違う人達を見かけるようになりました。奥武蔵をメインフィールドとする私達には喜ばしいことに違いありませんが、前述の登山のルールを欠くような行為には思わず眉をひそめてしまいます。

度を過ぎた山名標示板の設置は明らかな自然破壊となりますし、まして誤った山名を掲げることは嘘を拡散することと同じです。不利益を被る人がいるかどうかは分りませんが、実際に山アプリや登山地図等で誤情報垂れ流されている現状では、将来的に禍根を残すことになりかねないでしょう。当会では、神山弘氏が戦前に収集した山名を『ものがたり奥武蔵』で発表されて以来、多くの諸先輩が現地での聞き取り調査をし、検討を重ねて山名を地図に反映させてきた歴史があります。それは登山や地理に共通する「現地の呼称を優先する」ことを重んじているからに他なりません。「奥武蔵研究会」って何をしているのと問われれば、ある意味「奥武蔵の真相」を後世に伝えることがミッションなのかも知れません。

目次 第465号 令和8年7月

山名標示板に思うこと	小泉 重光 表2
三峯山に斎藤茂吉の歌碑を尋ねて	加藤 恒彦 1
身近にある有毒植物	坂口 由加里 4
寄居北條まつり	吉田 美知子 5
天目指峠を越えた狼煙	小泉 重光 6
―狼煙台ネットワークを追いかけて―	
土峰山から雷電山	湊 祐二郎 10
陣馬山	梅津 準士 11
加治丘陵	岡野 守 12
吾野の峠めぐり	吉田 美知子 12
小泉八雲の旧居跡を訪ね歩く	加藤 恒彦 13
長勝院旗桜と柳瀬川	岡野 守 15
石舟山から高旗山	高橋 澄夫 15
4月の山行集会	
「堂平山・山菜山行」	大川 満代 16
二本木峠から登谷山、中間平	中塚 智恵美 17
丸山から正丸尾根	湊 祐二郎 18
官ノ倉山	村木 悦子 19
山行計画	19
集会案内	20
会務報告	21

奥武蔵 第 465 号
令和 8 年 7 月 1 日発行

印刷所	編集者	〒175-0092 東京都板橋区赤塚7-18-7	発行所	発行者
株 ス ー ベ ル 社	成 川 茂 雄	加 藤 恒 彦	小 泉 重 光	奥武蔵研究会